

第3回鹿児島お仕事発見隊

報道記者として取材しよう！

馬の獣医師の仕事

鹿児島市立中郡小学校 5年

前田 理帆

私は馬が大好きで、小学2年生から、乗馬を習っています。

私は将来、傷付いたり弱ったりしている馬を助けるために馬の獣医さんになりたいと考えていて、馬の獣医師の仕事取材するプログラムに参加しました。

診察の様子を映像で見せてもらいました。厩舎の見回りをして馬の様子を診るとき、山下先生は一頭一頭に優しく声をかけ、声を聞いた馬が先生に近寄ってきていました。先生と馬の間に信頼関係ができているように感じて、こういう関係がいいな、私もそうなりたいなと思いました。

獣医さんは全国に四万人いるそうですが、馬の獣医さんは三百人ほどしかいないそうです。

全国には七万頭以上の馬が飼われています。獣医さんが馬と信頼関係を築いて、丁寧に診るには、三百人ではとても足りないなと感じました。

今回取材した鹿児島大学共同獣医学部は、馬の獣医さんを増やすのに、必要な設備が整っています。

まず郡元キャンパスにある附属動物病院には、全国の大学に七カ所しかない馬の手術室があるそうです。西日本で手術室を持っていて、馬の獣医さんがいるのが常にいるのは鹿児島大学だけです。遠くの方からは兵庫県や高知などから、手術を受けに運ばれてくるそうです。

他にも、去年、曽於市に、南九州畜産獣医学拠点、通称 SKLV ができました。鹿児島大学の学生だけでなく全国各地の獣医さんを目指す学生も、馬を始めとする産業動物の実習をするという、日本で初めての実践的な教育の場だそうです。

私は鹿児島に、馬の獣医さんを目指すための充実した環境が整っていることを知り、とてもうれしくなりました。

私は将来、鹿児島大学共同獣医学部で学んで、馬に寄り添い、傷ついたり弱ったりしている馬を一頭でも多く救う獣医師になりたいです。

そして、馬の魅力や馬の獣医さんの重要さを一人でも多くの人に知ってもらうために、まずは身近にいる人に伝えていきたいと思います。